

# 岩手県感染症週報

平成24年第6週(2月6日～2月12日)

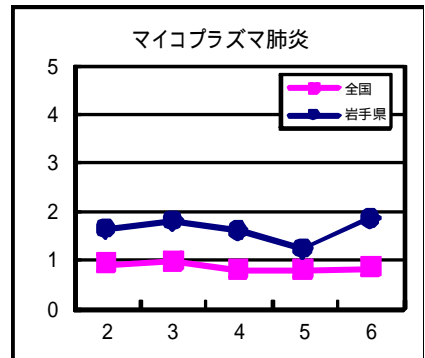
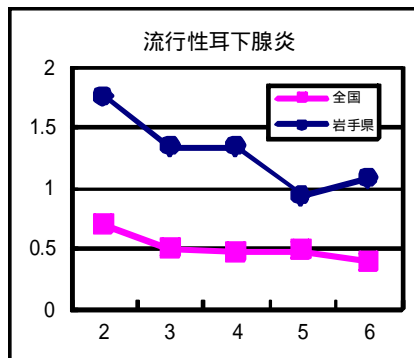
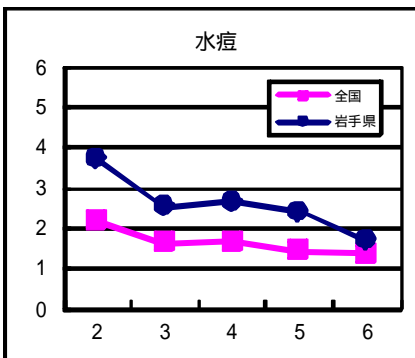
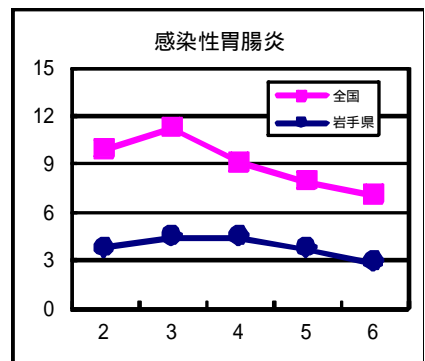
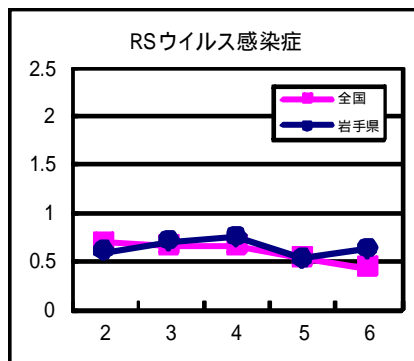
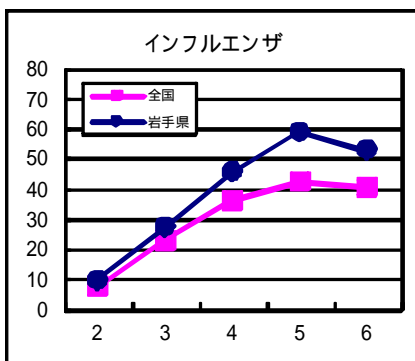
岩手県感染症情報センター

## 第6週の概要

- 1類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2類感染症 ・結核の患者の報告が5例ありました。
- 3類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4類感染症 ・レジオネラ症の患者の報告が1例ありました。
- 5類感染症（全数把握対象疾患） ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5類感染症（定点把握対象疾患）
  - ・インフルエンザは、定点あたり患者数が52.63人となり、流行状態が続いています。県内全ての地区で警報値（30人）を超えました。患者の年齢層は、14歳以下が7割以上を占めていますが、高齢層の割合も高くなっており、注意が必要です。本疾患の治療には抗インフルエンザ薬が効果があり、発症後早期に使用することにより重症化、遷延化を防ぐことができるので、感染を疑った場合は、早めの受診が勧められます。予防には、手洗い、うがいの励行が重要です。咳やくしゃみ等の症状がある場合は、周囲へ感染を拡げないように、外出を控えるとともにマスクを着用するなど咳エチケットが勧められます。
  - ・溶連菌咽頭炎は、二戸地区で4週連続で警報値（8人）を超えました。
  - ・マイコプラズマ肺炎は、前週の定点あたり患者数1.21人から増加し、1.84人となりました。依然、患者報告数の多い状況が続いています。

## 最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		2	3	4	5	6	
インフルエンザ	岩手県	9.76	27.13	45.52	58.98	52.63	→
	全国	7.33	22.73	35.95	42.62	40.34	
RSウイルス感染症	岩手県	0.6	0.7	0.75	0.53	0.63	→
	全国	0.69	0.66	0.66	0.54	0.44	
咽頭結膜熱	岩手県	0	0.08	0.13	0.05	0.1	→
	全国	0.23	0.23	0.23	0.24	0.2	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.43	2.13	2.15	1.83	1.7	→
	全国	1.51	2.22	2.21	2.07	1.99	
感染性胃腸炎	岩手県	3.78	4.43	4.43	3.73	2.83	→
	全国	9.87	11.21	9.07	7.92	7.06	
水痘	岩手県	3.7	2.53	2.65	2.4	1.68	↘
	全国	2.18	1.64	1.66	1.44	1.37	
手足口病	岩手県	0.03	0.08	0.05	0	0.08	→
	全国	0.17	0.2	0.18	0.14	0.13	
伝染性紅斑	岩手県	0.55	0.4	0.58	0.55	0.25	↘
	全国	0.25	0.3	0.25	0.22	0.16	
突発性発疹	岩手県	0.53	0.38	0.45	0.48	0.43	→
	全国	0.57	0.53	0.5	0.44	0.4	
百日咳	岩手県	0.03	0	0	0	0.03	→
	全国	0.02	0.02	0.02	0.01	0.02	
ヘルパンギーナ	岩手県	0.08	0.1	0.03	0.03	0.08	→
	全国	0.02	0.02	0.02	0.01	0.02	
流行性耳下腺炎	岩手県	1.75	1.33	1.33	0.93	1.08	→
	全国	0.69	0.5	0.47	0.48	0.39	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0	0.01	0.02	
流行性角結膜炎	岩手県	0.36	0.36	0.21	0.57	0.43	→
	全国	0.6	0.53	0.55	0.59	0.56	
細菌性髄膜炎	岩手県	0.05	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.03	0.02	0.02	0.02	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0.05	0	0.11	0.05	→
	全国	0.04	0.03	0.01	0.03	0.03	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.63	1.79	1.58	1.21	1.84	↗
	全国	0.92	0.98	0.78	0.79	0.84	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.03	0.03	0.02	0.02	0.03	

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

	疾病名	（週）					累計	全国	
		2	3	4	5	6		6	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核	8	6	5	4	5	31	337	2626
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（H5N1）	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	1
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	4	18
	腸管出血性大腸菌感染症	1	0	0	0	0	1	4	72
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	1
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	2
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	2	19
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	9
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	6	56
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	16
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ（H5N1を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	3
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	1	1	2	11	73
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患（続き）（過去5週の動き）

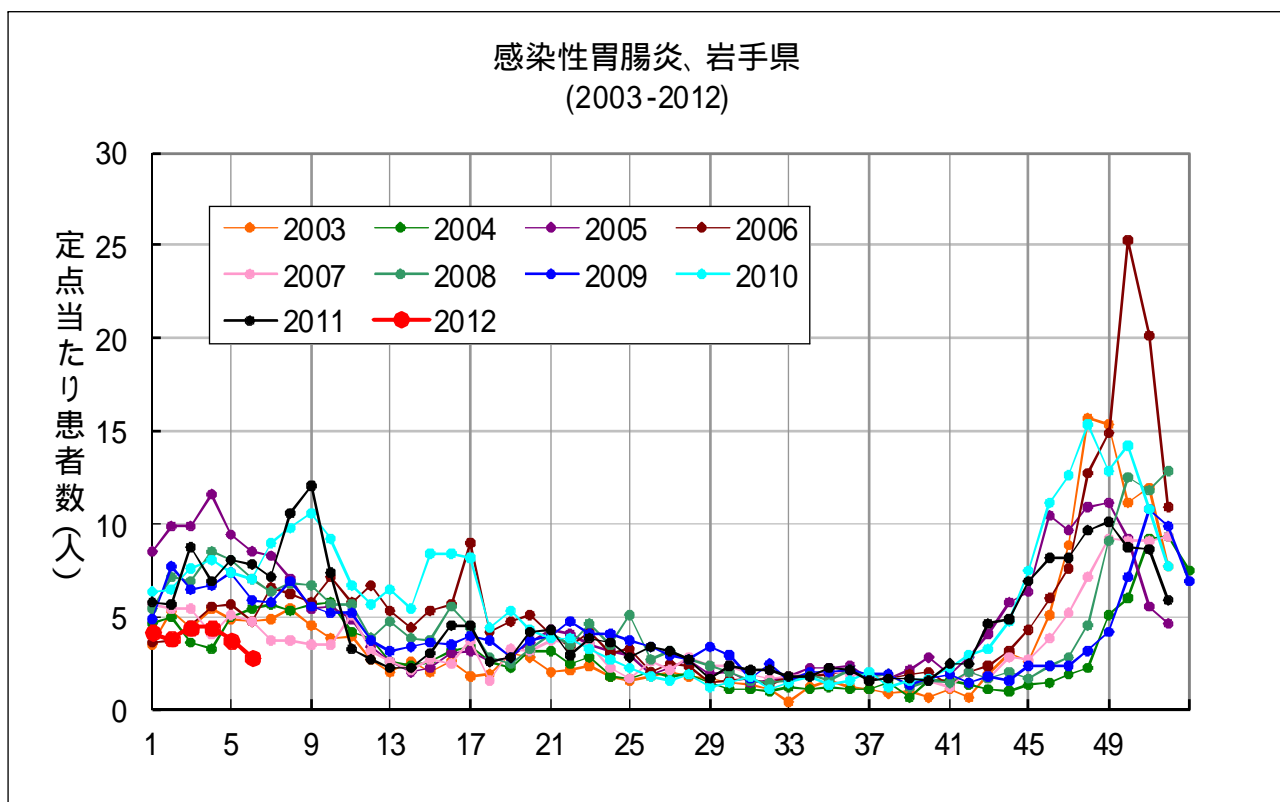
（患者発生数）

分類	疾病名	（週）					累計	全国	
		2	3	4	5	6		6	累計
五類 感 染 症	アメーバ赤痢	1	0	0	1	0	2	15	94
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	1	0	0	0	1	0	15
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	0	6	68
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	1	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	2	17
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	4	37
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	16	137
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	2
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	2
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	13	81
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	12
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	8
	風しん	0	0	0	0	0	0	2	27
	麻しん	0	0	0	0	0	0	13	47

今注目の感染症

感染性胃腸炎

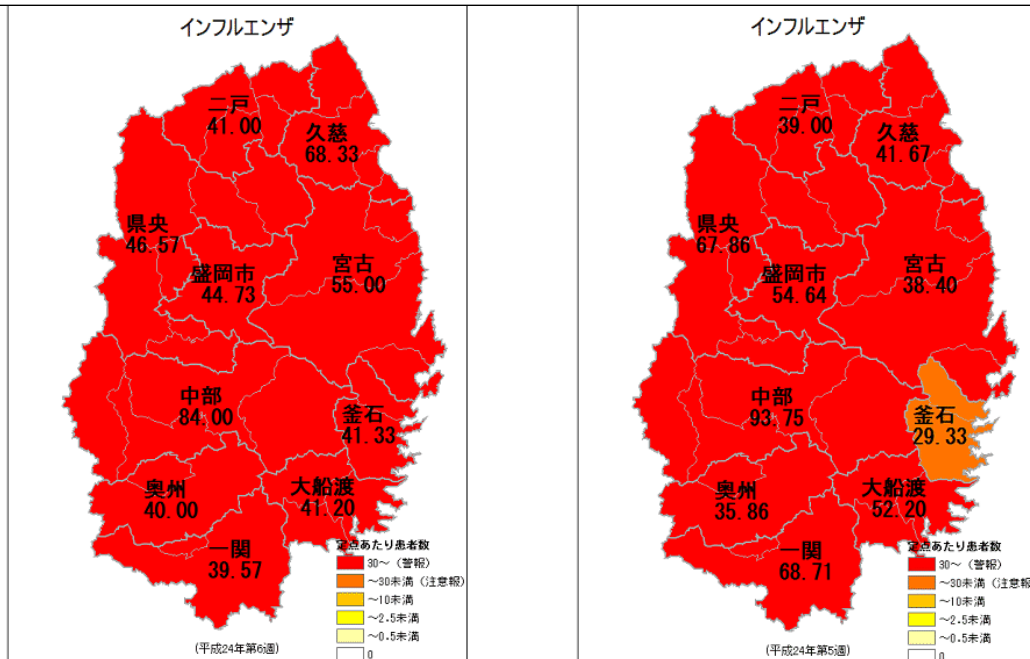
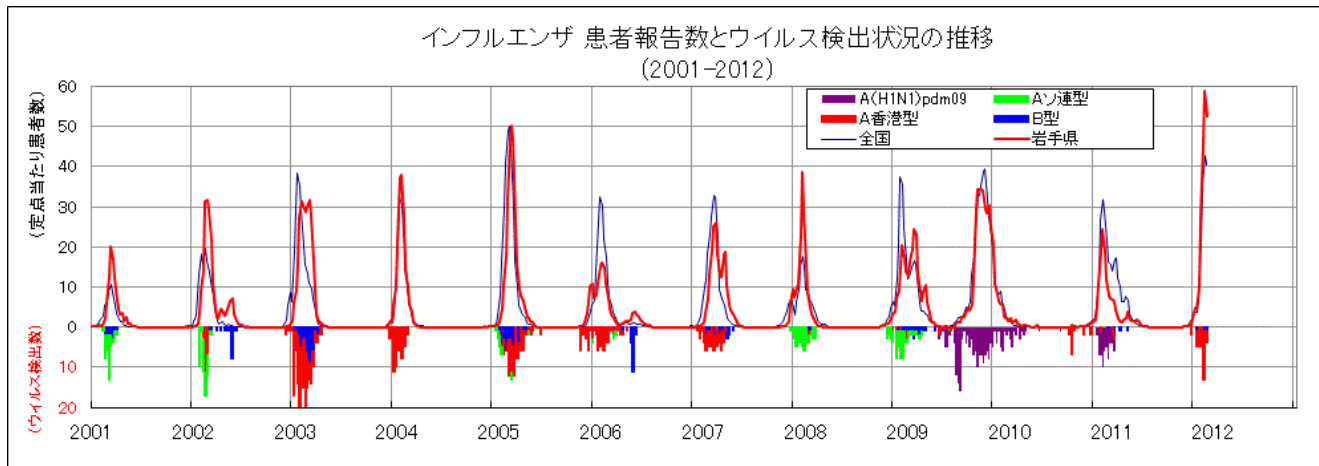
感染性胃腸炎は、例年11月頃に患者が急増し、12月～1月に患者数のピークを迎えます。今シーズンの患者報告数は例年と比較すると低いレベルで推移していますが、県内の施設等ではノロウイルスによる集団事例が発生しており、注意が必要です。予防には、石けんと流水による手洗いが重要です。また、汚物等を処理する場合は、家庭用の漂白剤に含まれている次亜塩素酸ナトリウムが有効です。



今注目の感染症（つづき）

インフルエンザ

インフルエンザは、2012年第6週の県内定点あたり患者数が52.63人となり、前週の58.98人から若干減少しましたが、依然高い値となっています。県内10地区全てで警報値（30人）を超えています。県環境保健研究センターが実施した検査では、今シーズン発生した患者から、A香港型インフルエンザウイルスを40件、B型インフルエンザウイルスを5件検出しており、流行の主流は5シーズンぶりにA香港型となっています。

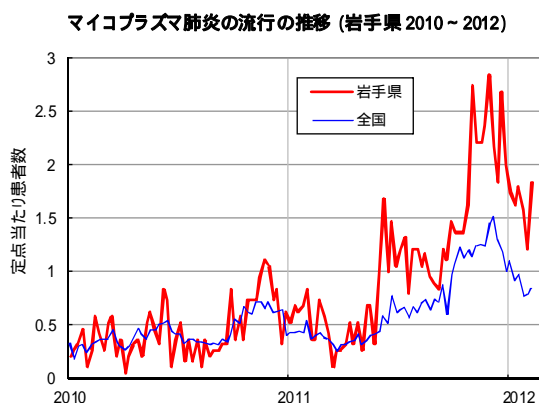


インフルエンザ、定点あたり患者数、地区別、左：第6週、右：第5週

マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎は、今週の定点あたり患者数は前週の1.21人から1.84人に増加しました。県内では昨年5月末に患者報告数が急増し、以降はここ10年で最も高いレベルで推移しています。本疾患は、肺炎マイコプラズマ（*Mycoplasma pneumoniae*）という小型の細菌を原因とした感染症であり、学童期から若年成人に多く、症状は長く続く乾いたせきを特徴とします。今シーズンは、マクロライド系抗菌薬に対する耐性菌が流行しており\*、治療には適切な抗菌薬療法が必要です。予防には、手洗い、うがいの励行、患者との濃厚接触回避が重要です。

\* IASR「<速報>小児におけるマクロライド高度耐性・肺炎マイコプラズマの大流行」  
<http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/pr3814.html>



## 病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭ぬぐい液から、A香港型インフルエンザウイルスを9件検出しました。
- ・インフルエンザの患者の咽頭ぬぐい液から、B型インフルエンザウイルスを2件検出しました。

\* 感染症週報平成23年第48週の病原体検出情報に掲載した「流行性角結膜炎の患者の結膜ぬぐい液から、アデノウイルス41型を検出した」事例において、ウイルスの型別に関して、現在、再精査中です。結果が出次第、本欄でお知らせいたします。

## 集団感染情報

感染性胃腸炎の集団発生について（2月10、13、14日発表分）

- 1 盛岡市内の保育園（園児数139名、職員数31名）
  - ・2月2日（木）から2月10日（金）にかけて23名に症状（嘔吐、下痢、腹痛等）
  - ・有症者8名中8名からノロウイルスを確認
- 2 一関市内の介護老人保健施設（入所者数86名、職員数65名）
  - ・2月3日（金）から2月12日（日）にかけて14名に症状（嘔吐、下痢等）
  - ・有症者8名中8名からノロウイルスを確認
- 3 一戸町内の障害者支援施設（入所者数40名、職員数25名）
  - ・2月1日（水）から2月14日（火）にかけて16名に症状（嘔吐、下痢等）
  - ・有症者8名中8名からノロウイルスを確認

インフルエンザによる学校等の休業措置について（2月10日～2月16日発表分）

- ・岩手県発表 68件
- ・盛岡市発表 20件

詳細は、岩手県医療推進課のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=4104&ik=1>

## 医療機関からの情報

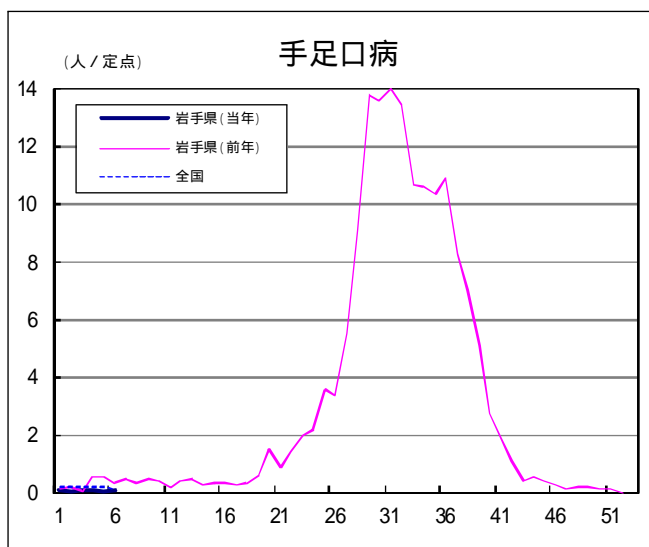
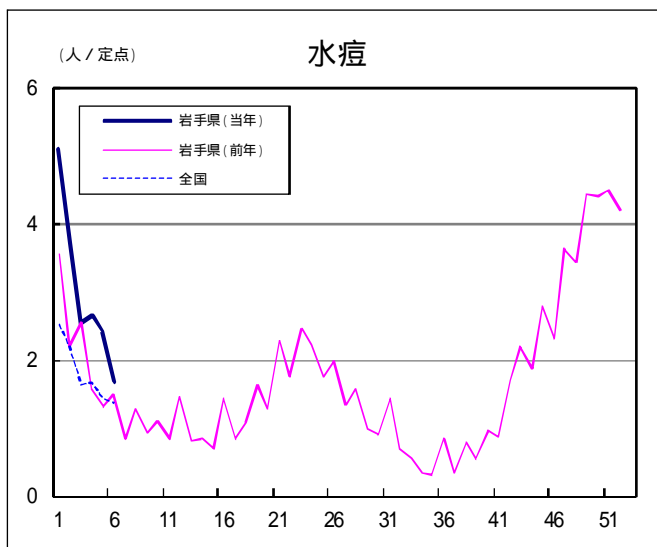
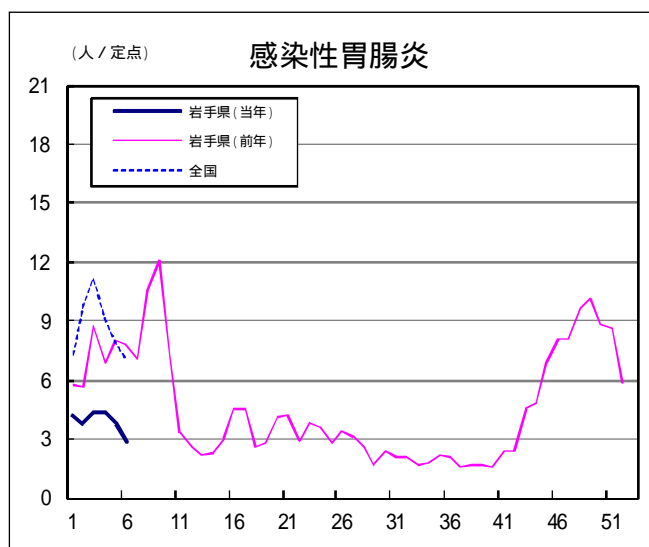
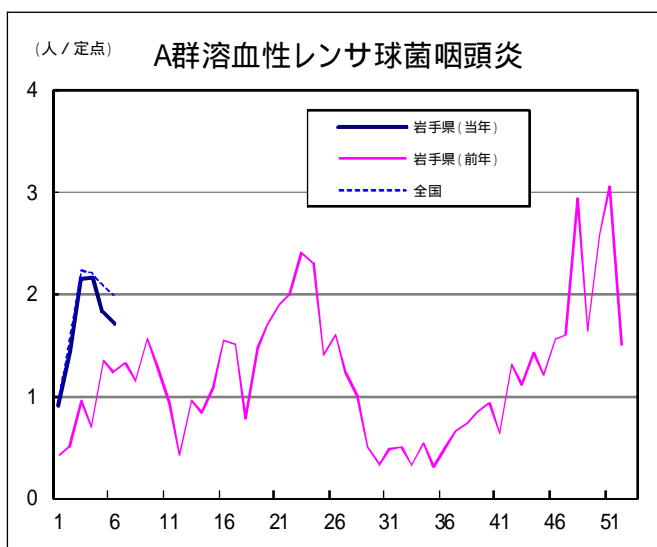
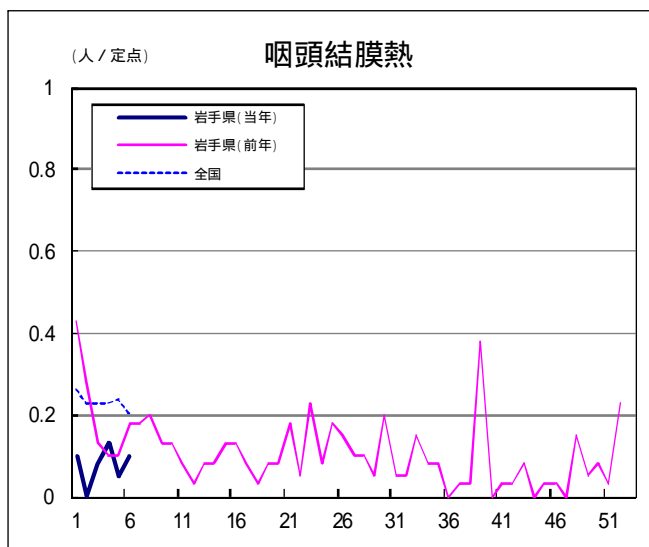
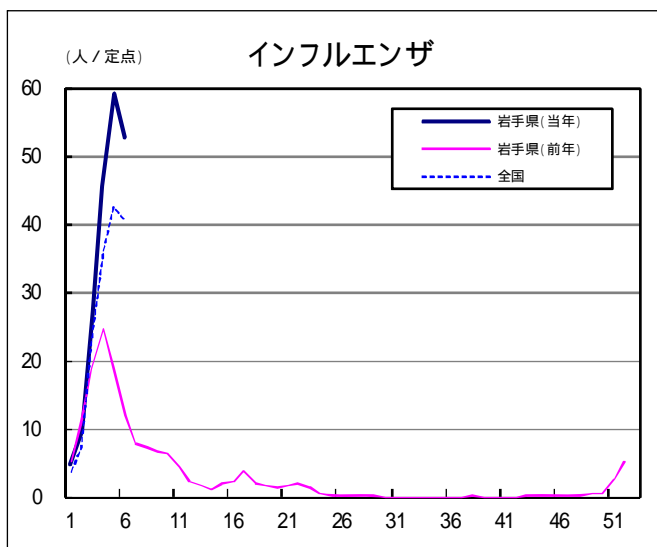
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

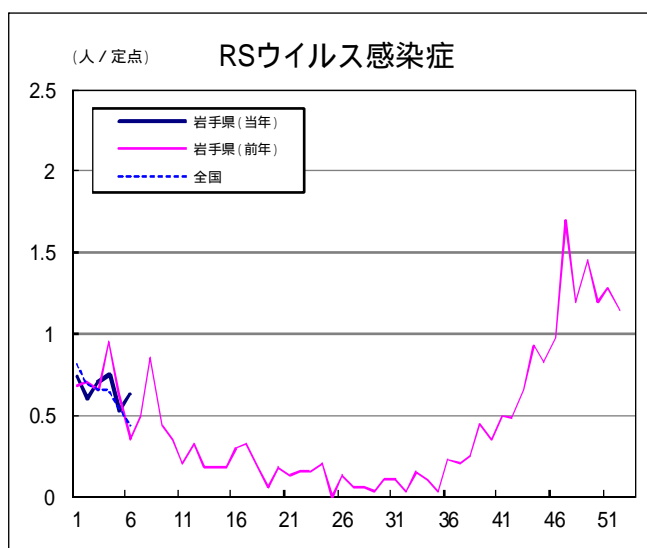
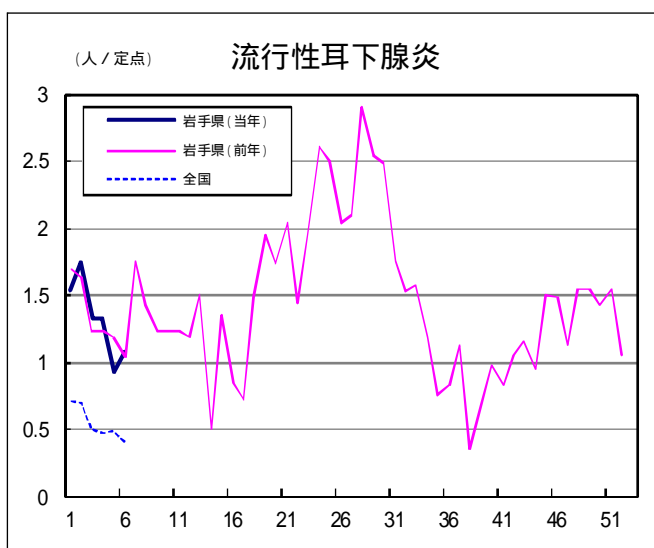
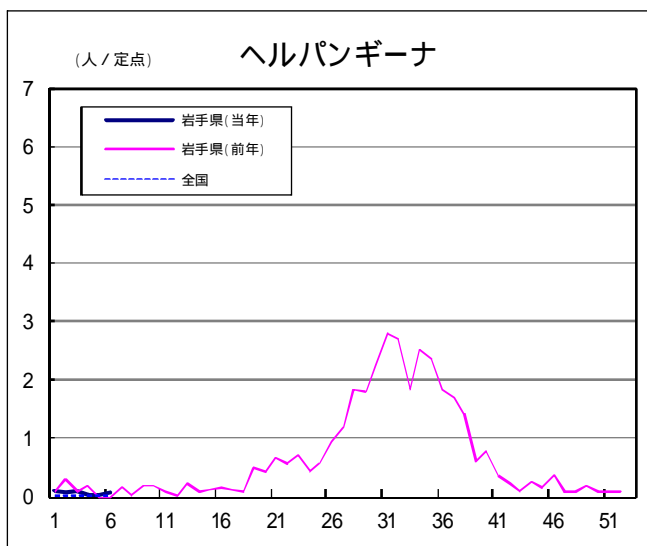
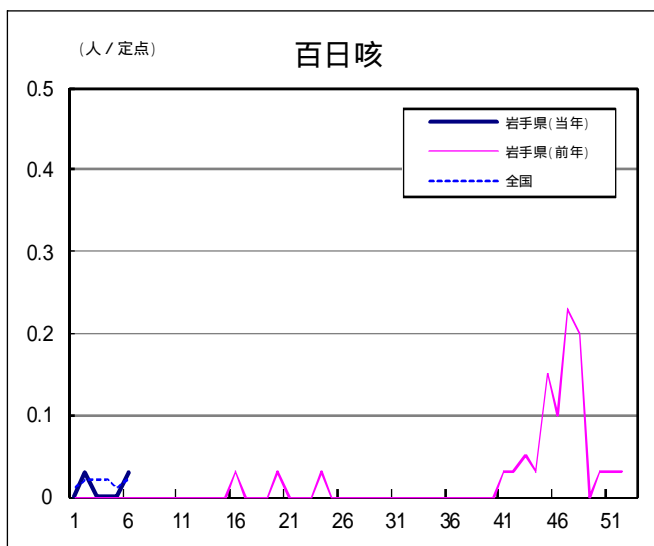
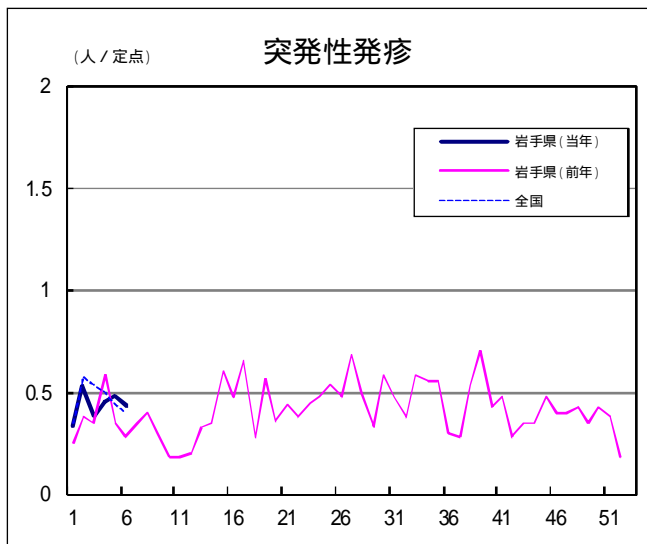
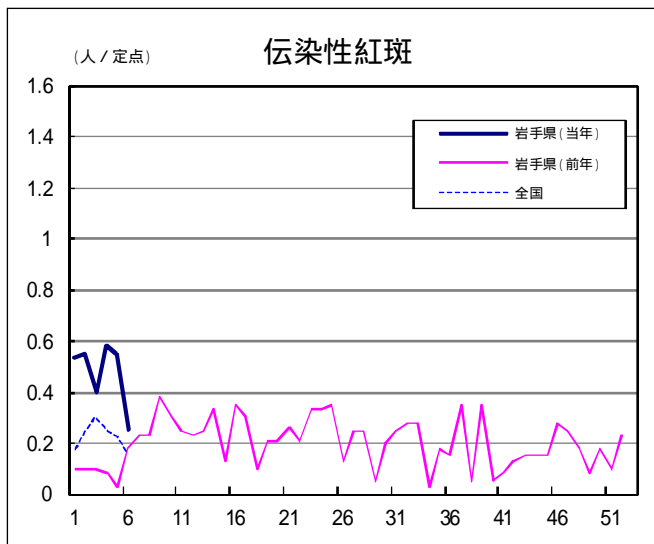
## Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

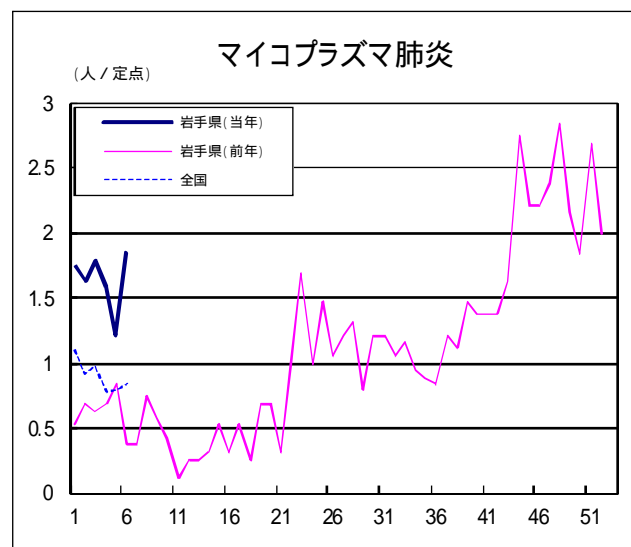
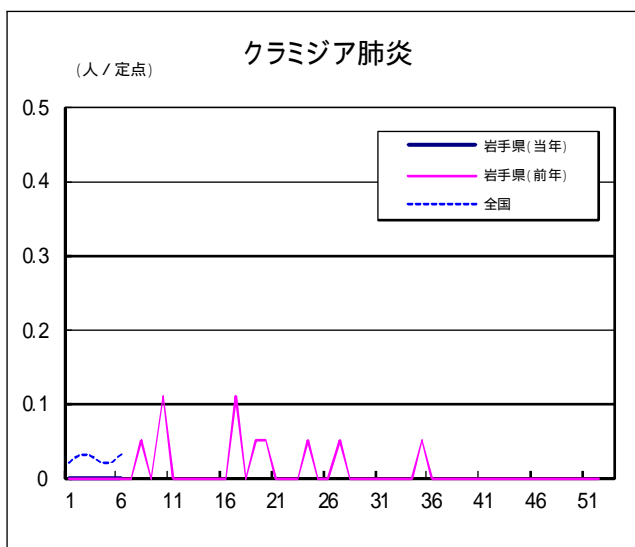
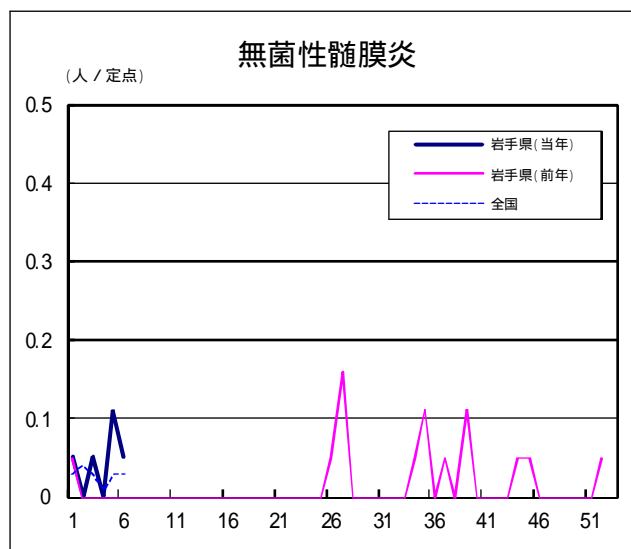
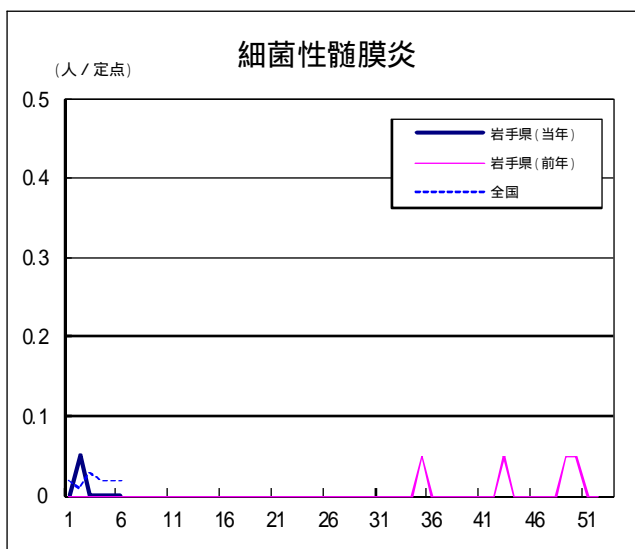
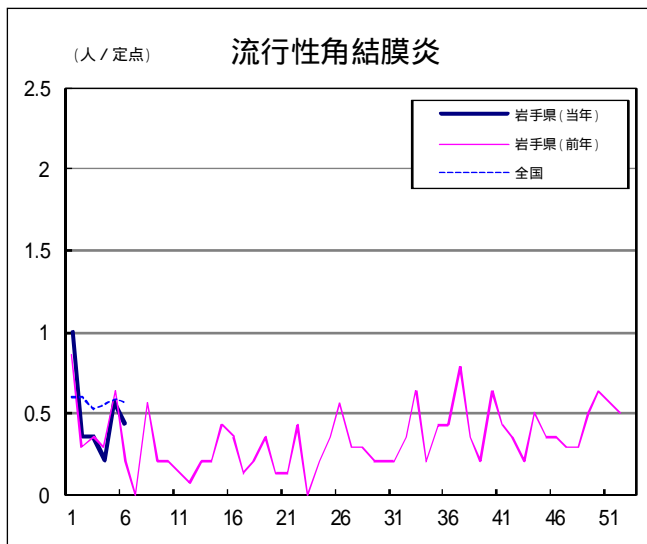
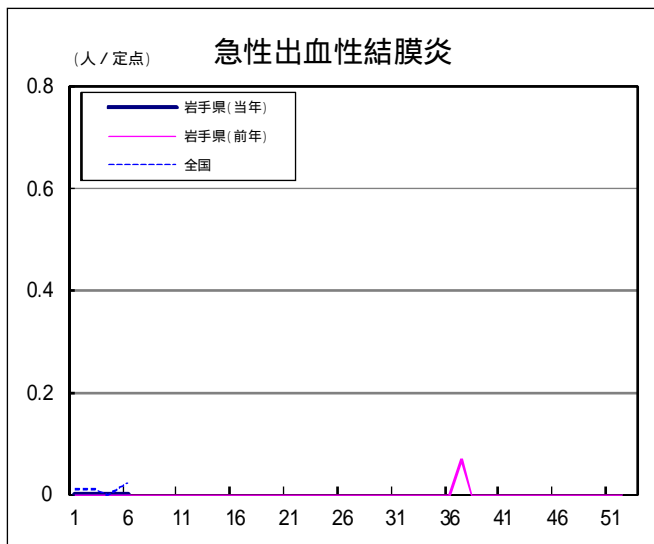
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
（平成24年2月20日より、区画整理に伴い、当センターの住居表示が  
変更となります。新住所：〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16）  
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
花巻	7	4	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/maimagazine.html>

岩手県感染症週報 平成24年第6週 平成24年2月17日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター  
岩手県保健福祉部医療推進課

事務局：岩手県感染症情報センター

（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

（平成24年2月20日より、区画整理に伴い、当センターの住居表示が  
変更となります。新住所：〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16）

TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail：CC0019@pref.iwate.jp

URL：http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/

<岩手県感染症情報センター>

http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345

<岩手県保健福祉部医療推進課>